

## 平成29年度 第1学年 前期授業アンケート 分析表

国語総合 (現代文)	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。予習や復習など自主学習の方法を工夫する必要がある。お互いの意見を交換させることで相互の活発な知的活動を創り出し、作成した解答を評価し合うことで自己の語彙力や表現力をより高めることを志向させたい。
国語総合 (古典)	多くの生徒が予習を行い、集中して授業に取り組んでいる。予習・復習を着実に行うことが確かな読解力につながるということを理解し実感できる授業を行いたい。また、様々な文章を通して問いかけを重ね、伝統的な言語文化への興味や関心を広げていきたい。
現代社会	多くの生徒が授業に集中して取り組めており、授業の難易度もちょうど良いと回答している。グループ学習を取り入れることで、学習に対する意欲が高まっている。学習した内容を実生活とリンクさせた形で制度や用語を理解できるような授業展開が引き続き必要である。
数学 I	生徒の授業の集中力や予習・復習の取組み、授業進度は概ね良好である。理解度が不安な生徒が見受けられるが、予習・復習の徹底を継続して指導したい。予習を前提とした授業をしながら、グループ学習も時々取り入れ、基礎から応用へ丁寧な指導を心掛けたい。
数学 A	生徒の授業の集中力や予習・復習の取組み、授業進度は概ね良好である。単位数が少ないため理解に不安を抱えている生徒が見受けられるが、再度予習・復習の徹底を促したい。時にグループ学習も取り入れ、基礎から応用へ丁寧な指導を心掛けたい。
物理基礎	やや難しいと感じる生徒もいるが、公式で理解するのではなく、グラフ等を用いた本質的な理解を促していきたい。また、7割以上の生徒が授業を受けて物理基礎への関心が高まったと答えており、この関心を原動力にして生徒が「考える」授業を展開していきたい。
生物基礎	興味関心を高くもつ生徒の割合は高いが、「もっと科目の内容に触れてみたい」と主体的に学ぼうという意識がある生徒の割合はそれに比べ低くなっている。自ら学ぶ意識をもつような授業展開に努めたい。
保健体育	大半の生徒が授業に集中して取り組めており、進度・難易度についても適正である。授業は週2回ではあるが、技能・体力の向上が見られる生徒が約半数いる。今後もグループ学習等を積極的に取り入れた充実した授業を実施していきたいと考える。
音楽 I	多くの生徒が授業に集中して取り組み、授業の難易度、進度共に適切であると回答している。グループ学習による活動も、積極的に取り組んでおり、理解や関心が高まってきている。音楽に関する経験にばらつきがあるが、個々の能力を生かせるような授業を展開していきたい。
美術 I	前期では個人の作品制作を多く取り入れているのでなかなかグループ学習としての時間を設けるのが難しい。作品総評や短時間でできるクロッキーなどを利用しグループの時間を持つように工夫した。
書道 I	授業に集中している生徒が多く、また少しずつではあるが、技量も向上し、芸術としての「書」のあり方を理解し始めている。より多く協同学習を取り入れることにより、クリティカルに書を見つめ、表現できる力をつけたいと思う。
コミュニケーション英語 I	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切である。やや難しいと感じている生徒について、クラスルームイングリッシュや活動内容について繰り返し触れ取り組む中で慣れることで改善されると期待できる。予習・復習の徹底を促していく。
英語表現 I	9割以上の生徒が授業に集中している。パフォーマンステスト等で授業へのさらなる意欲にもつながっており、授業に満足している生徒が多い。自律学習者として、予習・復習の徹底を促していく。
家庭基礎	多くの生徒が真面目に授業に取り組んでおり、難易度・進度とも適切であると回答している。今後も生徒が問題意識を持ち、興味・関心を深めながら、課題解決に向けて取り組めるような授業内容を工夫していきたい。
社会と情報	多くの生徒が集中して取り組んでいる。引き続き興味関心が持てるような授業展開を心掛けたい。実習ではスキルにばらつきがあり、最初は戸惑う生徒もいたがTTによる指導で充分に対応できておりスキルも向上している。